

## 第7章 TQM推進室

TQM (Total Quality Management) とは、全員・全体 (Total) で、医療・サービスの質 (Quality) を、継続的に向上させる (Management) ことを示している。

組織化2年目を迎えたTQM推進室では、医療・サービスの質を継続的に向上させるため、「QC活動」に主軸を置いて活動を行った。

QCとは、Quality Control の略語であり、品質保証と質を向上させるための品質管理活動を指す。当センターでは、各職員が常に問題意識を持ち創意工夫に努めることをQC推進の方針として掲げ、全病院的な協力体制のもと、チームワークを大切に自主的活動により推進していくこととしている。

TQM推進室では、院内各セクションがQC活動を行っていくための手掛かりや刺激を受けられるよう、院外の取組事例を紹介いただくための講演会を企画した。またQC活動について、中間・年度末の報告会を行い、病院長とTQM推進室により、「最優秀賞」「優秀賞」を選出した。

このほかTQM推進室ニュースの定期発行、医療用データウェアハウスCLISTA! についての研修会を行い、院内各セクションが質改善活動を行っていくために継続的な支援を行った。

### 1. 主な取り組み

- (1) QC活動のテーマ設定から報告までの企画とりまとめ
- (2) QC活動の中間報告会、年度末報告会の実施
- (3) 講演会の実施
- (4) 業務改善提案投書箱による改善提案の受付 (提案件数9件)
- (5) TQM推進室ニュースの発行 (3回)
- (6) TQM掲示板での掲示
- (7) 医療用データウェアハウスCLISTA! に関する研修会の実施

### 2. 令和2年度QC活動最優秀賞、優秀賞

賞	テーマ	セクション
最優秀賞	発熱性好中球減少症における発熱から初回抗生剤投与開始までの時間の検討	血液腫瘍科、10A病棟、11B病棟
優秀賞	外来患者の待ち時間短縮に対する多職種連携による介入	感染免疫・アレルギー科
	13歳未満におけるカテーテル検査の入院期間の再検討	循環器科、10B病棟
	移行期医療支援センターとしての対応も含む相談窓口業務の円滑化	地域連携・相談支援センター

### 3. 構成員

所属	氏名	所属	氏名
副病院長	小熊 栄二	感染免疫・アレルギー科	上島 洋二
集中治療科	宮 卓也	薬剤部	齋藤 恭子
臨床工学部	古山 義明	看護部	尾上 美喜恵
事務局 医事・経営担当	松山 勇吉	事務局 医事・経営担当	大川 由華

令和2年度QCテーマ一覧

診療科・セクション	テーマ
新生児科	外来待ち時間対策
感染免疫科	外来患者の待ち時間短縮に対する多職種連携による介入
血液腫瘍科	発熱性好中球減少症における発熱から初回抗生剤投与開始までの時間の検討 (10A、11B と合同)
循環器科	13歳未満におけるカテーテル検査の入院期間の再検討 (10B と合同)
神経科	幼児期の鎮静剤を用いた頭部MRIの実施状況 (外来)
遺伝科	先天異常症候群集団外来の午前中診察待ち時間を有意義に過ごしてもらおう
総合診療科	外来予約票の改訂
整形外科	①整形外科外来 初診率の向上
	②外来受診の次回予約の取得期間延長とネット予約の開始
形成外科	当院救急外来を受診した外傷患者の実態
眼科	斜視手術後成績の向上
皮膚科	レーザー治療説明において、照射前後の実例写真を用いることで患者・家族の実際の治療改善度への認識・理解度の向上
麻酔科	適切なMRI 鎮静による検査の安全性向上と効率化
放射線科	放射線被ばくの管理
歯科	入院患者の診察日の固定と周知
集中救急外傷	①抜管後の誤嚥による重篤な合併症をゼロにする (4A と合同) ②気管カニューレ事故抜去による重篤な合併症をゼロにする (4B と合同) ③ER 受診患者との初回接触時間を短くする (救急外来と合同)
消化器肝臓科	ポリープ切除術および内視鏡的粘膜切除術後の出血率
病理診断科 臨床研究部	病理診断報告の迅速化と精度向上
保健発達部	保健発達部の”New Normal” 策定に向けて
放射線技術部	撮影時間の短縮
検査技術部	未保険収載検査項目の適正な検査依頼
薬剤部	院外処方箋の疑義照会対応の効率化
栄養部	調理室を清潔に (キレイキレイ調理室)
臨床工学部	医療機器インシデントの削減
事務局 (管理部)	施設の省エネ、ペーパー削減
事務局 (業務部)	お問い合わせへのスピーディーレスポンス
事務局 (地域連携)	移行期医療支援センターとしての対応も含む相談窓口業務の円滑化

看護部	テーマ
看護部	働きやすい職場環境の整備 (時間外削減) 日勤定時退勤達成率 (1人/月1回)
4A (PICU)	抜管後の嚥下障害について (集中・外傷と合同)
4B (HCU)	気管チューブ事故抜去による重篤な合併症をゼロにする (集中・外傷と合同)
5A (NICU)	MRSA 発生密度率の低下 ・分子：新規 MRSA 検出件数 ・分母：同一期間における延べ患者数
5B (GCU・一般)	
9A	感染防止高まり MAX 手～を洗おう♪ 9A 病棟
9B	業務効率化による家族参画ステップ4、5の推進
10A	発熱性好中球減少症における発熱から初回抗生剤投与開始までの時間の検討 (血種、11B と合同)
10B	13歳未満におけるカテーテル検査の入院期間の再検討 (循環器科と合同)
11A	入退院支援計画書と退院支援プログラムの活用し、継続看護の強化を図る
11B	医療安全に対する意識を向上させ、安全文化を共有しよう
	発熱性好中球減少症における発熱から初回抗生剤投与開始までの時間の検討 (血種、10A と合同)
12A	時間外削減 ノー残業デーの実施 (1人2日/月以上)
手術室	オカレンスの分析と結果共有により手術の安全性を高める
救急外来	患者来院から診察開始までの時間を短縮する
外来	計測室の待ち時間の短縮
在宅	入退院支援計画参画への看護プロセスの共有

(松山 勇吉)